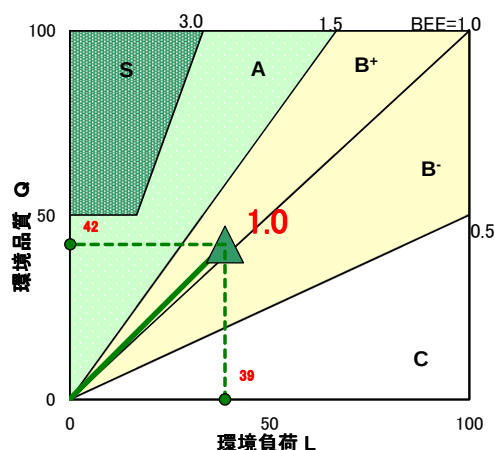


CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要			■ 外観
建物名称	(仮称)ニトリ新八代店新築工事	階数	地上2F
建設地	熊本県八代市海士江町字下城2712	構造	S造
用途地域	無指定	平均居住人員	50 人
気候区分	地域区分Ⅴ	年間使用時間	4,000 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年2月 予定	評価の実施日	2011年9月6日
敷地面積	6,738 m ²	作成者	(株)T&N北海道設計事務所
建築面積	2,258 m ²	確認日	2011年9月6日
延床面積	4,210 m ²	確認者	中川 晃

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.0

$$\text{BEE(環境効率)} = \frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

53%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

79

評価点

■ 熊本県重点評価基準

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

90.3

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

60.0

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

75.0

【重点事項4】 循環型社会の実現

78.7

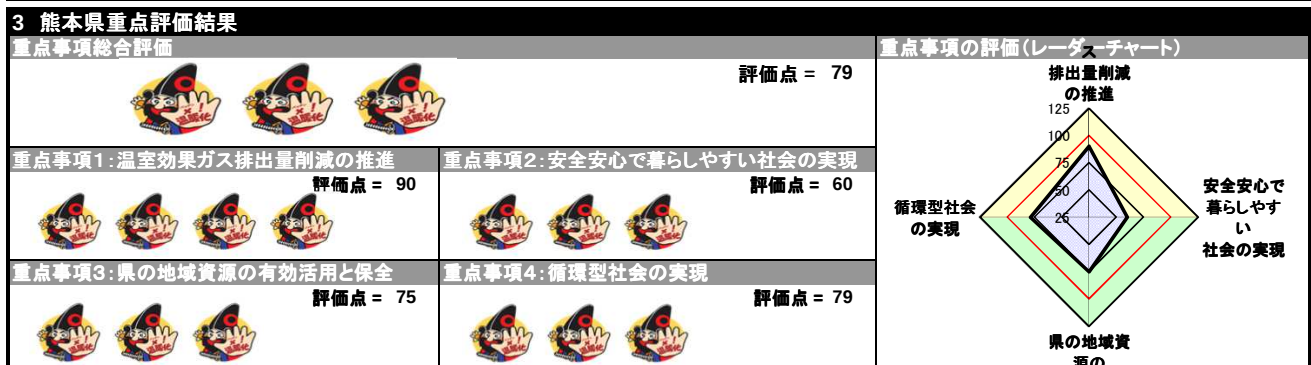
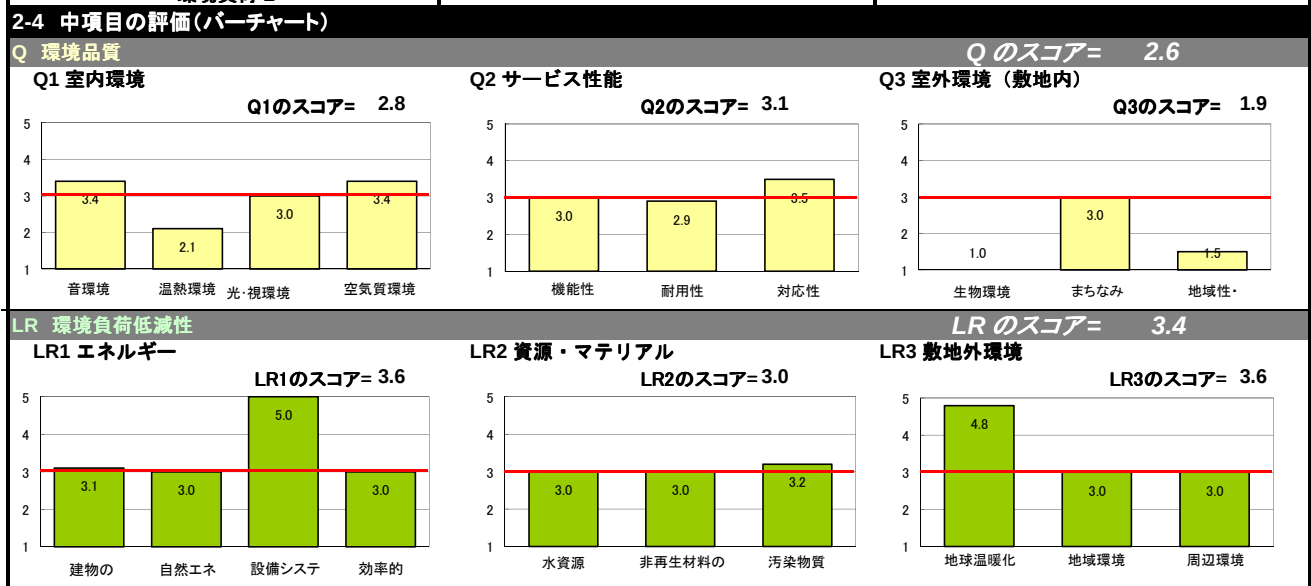
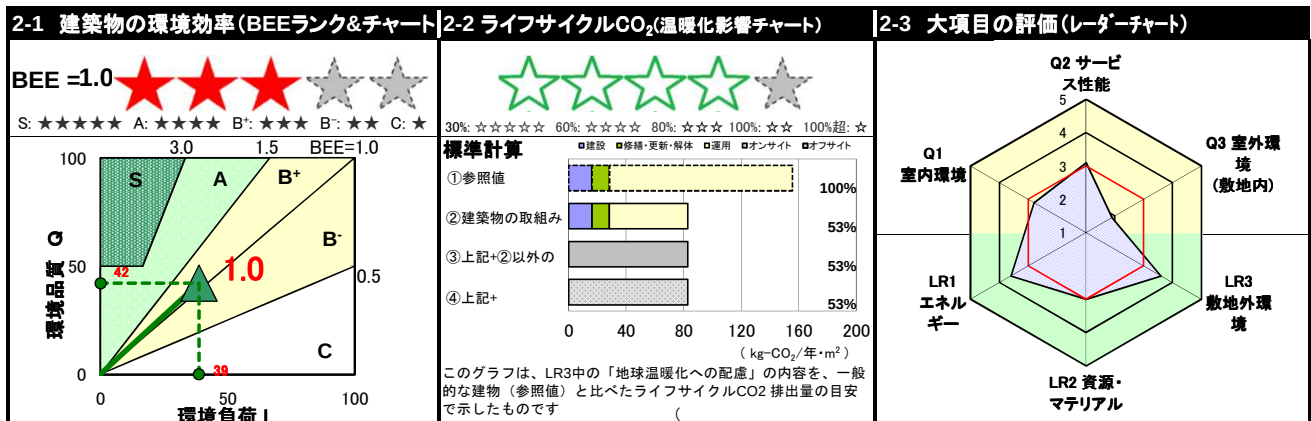
判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニトリ新八代店新築工事	階数	地上2F	
建設地	熊本県八代市海士江町字下城2712	構造	S造	
用途地域	無指定	平均居住人員	50 人	
気候区分	地域区分V	年間使用時間	4,000 時間/年	
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2012年2月 予定	評価の実施日	2011年9月6日	
敷地面積	6,738 m ²	作成者	(株)T&N北海道設計事務所	
建築面積	2,258 m ²	確認日	2011年9月6日	
延床面積	4,210 m ²	確認者	中川 晃	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

建物外皮における断熱性能を高め、冷・暖房エネルギーの消費効率を高めるとともに、過剰な空調能力設計を避け、必要最小限の室温環境が保てるように配慮した。

Q1 室内環境

全ての仕上材に対しホルムアルデヒド等級F☆☆☆☆製品を用い、化学汚染物質被害を除去する。

Q2 サービス性能

階高にゆとりをもち、自由な空間利用を可能とするとともに、利用者に圧迫感を感じさせない。内装はアイボリー色に統一し、照明計画を含め豊かな雰囲気演出する。各設備の更新性にも配慮を行っている。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地内緑地の確保に努める。

LR1 エネルギー

設備システムの効率的運用に配慮し、メンテナンス等運用管理体制を確保する。

LR2 資源・マテリアル

特になし

LR3 敷地外環境

サインのみを演色性のある照明器具にて間接的に照らし、夜間の光害へ配慮。通常必要量を上回る駐車スペースを確保することにより、周辺への交通負荷を抑制する。

その他

特になし

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
(仮称)ニトリ新八代店新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年版

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.40			2.8
1 音環境		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 騒音		4.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル		4.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.1	0.35	-	-	2.1
2.1 室温制御		2.5	0.50	-	-	
1 室温		2.0	0.50	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-	
1 昼光率		3.0	-	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	-	3.0	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境		3.4	0.25	-	-	3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		4.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.5	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		4.0	0.50	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31	-	-	2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	

2.3 適切な更新				-			
2.4 信頼性			2.6	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		1.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.5	0.29			3.5
3.1 空間のゆとり			3.4	0.31			
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0		
2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	3.0		
3.2 荷重のゆとり			4.0	0.31	3.0		
3.3 設備の更新性			3.3	0.38			
1	空調配管の更新性		4.0	0.17			
2	給排水管の更新性		4.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30			1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.1	0.30			3.1
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化			5.0	0.30			5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=57%	5.0				
集合住宅の評価			3.0				
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.15			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63			3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22			3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68			
1	消火剤		4.0	0.33			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮			4.8	0.33			4.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			